

伝統産業の構造改革支援について

京都府
の担当課

商工労働観光部 染織・工芸課 (075-414-4856)

【担当省庁：経済産業省、中小企業庁】

1 伝統産業の産地構造改革と異分野共創による新価値創造

伝統産業における産地構造の抜本的な改革を進めるため「伝統産業産地保全基金」を創設し、以下の総合的な支援をしていただきたい。

- ① 一貫工程化に伴う、新たな設備導入や生産体制維持のための設備更新、原材料の生産等、基金を活用した支援を実施していただきたい。
- ② 後継職人の確保に向けた育成機関の設置について、支援をしていただきたい。
- ③ 全国の和装産地の振興と活性化に繋がるよう、和装（きもの）文化のユネスコ無形文化遺産への登録や、2020年東京オリンピック・パラリンピックでの衣装として、和装（きもの）が活用されるよう支援していただきたい。

■現状と課題

- ▶ 伝統産業は生産工程が分業化され、一工程の後継者不足による廃業等が工程全体に影響を及ぼすため、技術を伝承する職人の確保が伝統産業の存続に向けた大きな課題となっている。

■伝統工芸品の原材料及び国内産の割合

- ▶ 漆 国内生産量約1トン、輸入比率約98%（平成26年）
- ▶ 生糸 国内生産量約0.3千俵、輸入比率約95%（平成28年）

■京都府の取組

- ▶ 伝統産業の設備投資や後継者育成を支援するとともに、生産体制の再構築に向けた協議会を設置し、一貫工程化した共同工場の設置に向け産地組合と連携して推進

■伝統産業の設備投資の支援

	26年度	27年度	28年度	計
支援件数	131	205	245	581

■若手職人の確保に向けた取組

- ▶ 専門学校等による若手職人の育成
京都府立陶工高等技術専門学校（陶芸）
京都伝統工芸大学校
（陶芸、木彫刻、仏像彫刻、木工芸、漆工芸、蒔絵、金属工芸、竹工芸、石工芸、和紙工芸、京手描友禅）
- ▶ 若手職人の職場確保を支援（平成25年度～ 約70名）